

# 田上町議会だより



**町指定文化財 建造物**  
**椿寿荘**  
昭和六十二年十一月十七日指定  
 椿寿荘は最後の愛媛田舎七部兵衛の隠れ荘敷として、田舎家七代屋太郎が跡中井波の宮大工松井尚平を棟梁に招請して、大正三年（一九一四）から三年半の歳月をかけて、大正七年に完成したものである。  
 木質樫を建築主材に用い、吉野杉、倉津柳など全国から銘木を集め、釘類は使わず、榿梁様式をとり入れた唐瓦葺りである。  
 椿を長寿の象木とした中国の故事の神仏思想に因って名づけられたという行まいは、重厚な趣を呈している。  
 また京都の唐様、広瀬万次郎の手になる直欄は、自然の樹形を生かして深山断崖を表現し四季をそれぞれに美しく表える涼風の枯山水である。  
 田上町教育委員会

▲ 豪農の館 椿寿荘

新年の挨拶 .....	P2
12月定例会、全員協議会、発委案、発議案 .....	P3~4
付託案件審査報告 .....	P5
一般質問 .....	P6~12
常任委員会視察研修報告 .....	P13~14
一部事務組合報告 .....	P15
議員活動あれこれ／編集後記 .....	P16

第96号

■平成25年 1月25日 発行

# 迎春



## 新年のあいさつ

議長 泉田 壽一

あけましておめでとうございます。

健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、十二月の師走総選挙では民主党、国民新党の連立政権から自民党、公明党の連立政権へと交代がありました。国民感情は戦後、自民党政権が長く続いたことに政権担当能力より、変革を求めたい思いが3年4ヶ月前の総選挙でした。結果として国民の意に沿えなかつた事が大きな要因として推測されるのであります。

新政権は、経済成長戦略を基本として取り組む強い意志を表明されています。町と議会が一体となつて景気対策に該当する国の支援事業を採択されるべく対応することが結果として町民と町の為になると確信しています。政治も経済も国民生活も安定した成長が基本で在ることは昔も今も変わりません。

田上町では昨冬の豪雪が平成年度で最高の累計降雪421cmを記録しました。今年は穏やかな年である事を願うものです。

田上町議会も町民と町の発展に努力してまいりますので町民各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 新年あけましておめでとうございます



今	椿	有	浅	熊	皆	川	松	川	渡	池	関	泉	小
井		川	野	倉	川	崎	原	口	邊	井	根	田	池
幸	一	り	一	正	忠	昭	良	與	正	豊	一	壽	真
代	春	え	志	治	志	夫	彦	志	策		義	一	一郎

(議席順)





# 竹の友幼稚園・未満児 受入れ拡充！増築設計

## 12月定例会の経過

定例会は12月10日～17日の8日間開催されました。

初日の10日は、会期の決定後、総務産経常任委員会、社会文教常任委員会の報告がありました。今回は各々視察を行った報告が主でした。

その後一部事務組合議会報告がありました。町の人事案件、2件が上程されました。

1件目は「教育委員会」委員の任命の提案説明があり、丸

山敬氏の再任が同意されました。

2件目は「固定資産評価審査委員会」委員の選任の提案説明があり、渡辺幸子氏の再任が同意されました。

人事案件を除く6議案は町長の提案説明後、各常任委員会に審査が付託されました。

又新潟県中越福祉事務組合規約の変更の案件は可決されました。

その後、一般質問が行われ今回は、10・11日の2日間にわたり7議員が様々な角度から、町政に対する真摯な質疑が行われました。

13日総務産経常任委員会、14日は社会文教常任委員会で、それぞれ付託議案の審査が行われました。

最終日の本会議では、各常任委員会に付託された議案の委員長報告が行われ、討論・採決の結果、全て承認・可決されました。

この定例会において各委員

会より、発案の提案がありました。

議会運営委員長より田上町議会委員会条例の一部改正及び田上町議会会議規則の一部改正の上程がありました。

総務産経常任委員長より田上町議会政務活動費の交付に関する条例の制定、田上町議会政務活動費の交付に関する規程の制定が上程されました。いずれも、討論・採決の結果、全て可決されました。



▲教育委員会委員の起立採決



**全員協議会**

期日：12月4日

まちづくり財政計画は、ハード事業、ソフト事業、その他を含め45項目におよびます。その中で、今までに先送りされていた懸案事業や、少子化・子育て支援が新規事業に設けられました。

ここ一、二年でとりかかる主たる事業としては、幼児園未満児保育室設置工事、不妊治療費、妊産婦医療助成等です。

また、教育振興事業では学校の教室内の空調設備やトイレの改善、河川改良工事では大雨が降った時に、水を一時的に貯める「遊水池」の調査設計です。湯つ多里館の指定管理者制度移行の準備や、生涯学習センターなどがあげられています。これに係る財源の裏付け措置としては、一般財源や財政調整基金等で対応することです。

竹の友幼児園の定数の見直しについては、平成22年度に

定員235人で開園し、その後平成23年度に定員を255人に改定しましたが、平成24年11月1日現在で入園児童は268人となっています。

現在の施設面積などを勘案して平成25年度に定数の見直しを行い、275人とすることで核家族化と女性の社会進出を背景に未満児の入園希望が高くなっていることに対応するものです。この現状は今後も続くことから、鉄骨平屋建て約100平方メートル程度を増築したいとの考えが示されました。

**【用語解説】**

まちづくり財政計画とは前年度決算額をベースに向こう5年間の町財政の見通しを立てる計画で、通常ベースでの歳入歳出額、ハード・ソフトの各種主要予定事業、各種基金の残高等から成り立っており、毎年見直しを行い町財政の方向づけを行う重要な計画となっています。

**委員会発議による発委案**

件名	内容	提出委員会	審査結果
田上町議会委員会条例の一部改正について	地方自治法（以下「法」という。）の一部改正により、法で規定されていた委員の選任方法、在任期間等を条例で規定するもの	議会運営委員会	原案可決
田上町議会会議規則の一部改正について	法の一部改正に伴い、本会議でも公聴会の開催や参考人の招致ができるようにするもの	議会運営委員会	原案可決
田上町議会政務活動費の交付に関する条例の制定について	法の一部改正に伴い、政務調査費を政務活動費に改め、これらに充てられる経費を条例で定めるもの	総務産経常任委員会	原案可決
田上町議会政務活動費の交付に関する規程の制定について	政務活動費の交付に関し、様式類を定めるもの	総務産経常任委員会	原案可決

【用語解説】 発委案とは、委員会が議案を提案することを言います。

**議員発議による発議案**

件名	内容	提出議員	議決結果
議場への国旗・町旗の掲揚について	法律に基づき国旗を尊重するとともに、郷土への誇りとさらなる発展を願って、議場に国旗、町旗を掲揚するもの	渡邊 正策	原案可決

【用語解説】 発議案とは、議員が議案を提案することを言います。

▲上記発議案は、9月定例会に提出されました

# 常任委員会付託案件審査

## 総務産経常任委員会

専決処分的一般会計補正予算（第3号）では、歳入で歩行除雪機の4台購入の補助金受入れと心起園の修繕により基金を繰入れるものがありました。

質疑では、毎年もらえる補助金であるのか、などがありました。地区に除雪ボランティア組織があることが条件で来年も有りうるとの答弁でした。

専決処分的一般会計補正予算（第4号）では、衆議院選挙に伴う委託金の受入れと選挙費にかかる歳出で、備品購入費で記載台三人用3台、四人用10台購入するものでした。田上町暴力団排除条例は条

それを改正するものです。一般会計補正予算（第5号）では、歳入で繰越金の受入れ等です。

歳出では曾根開田における湯水対策費、消雪パイプ工事費、五明寺トネルのボーリング調査費、職員の時間外手当等、精算による事業費確定の減額などです。

質疑の中で、時間外手当は、湯つ多里館指定管理に伴う説明会に間に合わせる準備の為とのこと。五明寺トネルのボーリング調査は、県の指導により追加調査が必要になりましたが、工程には影響が無いことなどが明らかになりました。いずれも承認、原案可決されました。

委員長 池井 豊

## 社会文教常任委員会

地区のボランティア団体に各1台の計4台分の補正がありました。老人福祉施設費では、心起園の浴室関係の配管修繕料の補正です。

専決処分的一般会計補正予算（第4号）では、教育費のみで、羽生田小学校での浄化槽の修繕料の補正があり、質疑では常日頃学校施設の点検を行い、維持管理に努めるべきとの議論がありました。

一般会計補正予算（第5号）では、民生費の社会福祉費で、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の補正がありました。児童福祉費では、今後の幼稚園での入園希望が、増加傾向にあることから、幼稚園増築工事に関係する設計委託料等の補正がありました。全員協議会で説明はあったが、議会への説明があまりにも突然ではないか、近隣の市町村への広域入所では断られているケースがある、増築の方針となつた経緯、民間を圧迫するのでは

はないか等の質疑が交わされました。衛生費の保険衛生費では、保健センターの光熱水費国民健康保険特別会計への繰出金再生資源回収団への補助等の補正です。

教育費では、小中学校、原ヶ崎交流センター、コミュニティセンター、町民体育館、給食センター等各施設の光熱水費の補正が主なものです。国民健康保険特別会計補正予算（第1号）では、療養給付費、高額療養費等の不足分の補正、事業費の確定による支援金、償還金の補正それに伴う歳入の補正です。

介護保険特別会計補正予算（第1号）では、介護認定の増加による調査委託料、居宅介護の住宅改修にともなう給付費の補正です。

いずれも承認、原案可決されました。

委員長 熊倉 正治





川口 與志郎 議員



川崎 昭夫 議員

# 一 般 質 問

## 町の活性化は役場から

つ、応募年齢についても幅をもたせて、応募者の適正を判断して採用を決定しています。組織の活性化や職員の年齢構成等の観点から、民間経験者も採用しています。今後も状況に応じて採用していきたいと考えております。



▲田上町役場

## これからの障がい者支援は

けて、障がい者支援センターの指定管理者として障害福祉サービスを提供しています。障がい者のグループホームの設置については、今後も研究課題として捉えています。又、町外にある障がい者支援施設においても、入所待機者がある状況で、将来に不安を抱えている家族については、早めに相談していただければと考えています。



▲総合保健福祉センター（社会福祉協議会）

**問** スキルアップ研修から企業への派遣、出向については以前から町は現在の要員構成から見ると不可能との見解でした。そこでわたしは一つ提案いたします。それは「企業人採用」です。大学を卒業し、10年くらい一般企業に就職をし、企業のノウハウを経験した35才以下の企業人を採用することです。役場は最大のサービスマン機関であります。ぜひ提案を採用していただき、さらなる町の活性化を期待します。いかがでしょうか伺います。

**町長** 職員採用につきましても、退職補充を基本として

## 柏崎・刈羽原発の緊急時の対応は

**問** 原発事故時には、柏崎から田上の方向に風が吹いてくる確率が高いためです。40キロ圏の見附市・栃尾までが警戒区域です。ここに住んでいる人は、安全なところに避難しなければなりません。田上町は50キロ圏ですが安全とはいえない区域です。

特に赤ちゃん・子ども・妊婦・若いお母さんは、場合によっては、避難が必要になります。その避難への準備をどうしますか。避難先を今から準備しておかなければなりません。避難経路はどうなりますか。子ども、町民への甲状腺被爆を避ける安定ヨウ素剤

服用のマニュアルも作らなければなりません。それはそれとして、すぐにも柏崎・刈羽原発の再稼働を認めず、廃炉にすれば問題はなくなりません。東京電力は来年にも再稼働したいと表明していますがそれは、絶対に認められないことだと思います。いかがですか。町長の見解を伺います。

**町長** 災害時の避難、安定ヨウ素剤の服用及び放射性モニタリング等の対応をどうするかということですが、当町は柏崎・刈羽原発の緊急時には、屋内退避や安定ヨウ素剤の服用などの対応、そして、原発周辺市町村からの避難者の受け入れについての準備が必要になると考えています。3月以降に田上版、原子力防災計画を作成します。

経済活動に支障がなければ原発はないほうがよいと考えております。

## 住宅リフォーム助成の実施を

**問** 多額の予算化ができればいいのですが、五百万円とか一千万円からはじめても効果が期待されます。

**町長** 助成は、町内の業者に限定すれば、町内業者の経営安定が図れますし、住宅のリフォームは住民の固定資産をしっかりとしたものにします。助成制度ができれば町民の皆さんに喜ばれるのではないのでしょうか。既に実施している自治体では好評です。町長の見解を伺います。

**町長** 住宅リフォーム助成には、早期実現に向けて、前向きに努力します。

## TPPについて

**問** 田上町は農業が基幹産業であり、この問題の行方によっては町の農業は、大きな影響を受けます。

TPPへの加盟は例外無しに、関税がゼロですから、コメ農家が大打撃を受けることは明らかです。食糧自給率は現在39%ですが、TPP加盟により13%になることが想定されています。これでは日本の食糧の確保はどのようにでしょうか。いったん耕作を放棄しますと簡単に田畑を復活できません。非関税障壁の撤廃の問題もあります。TPP問題についての町長の見解を伺います。

**町長** TPPについては、国益を見据えて、冷静に判断することが必要になっていくと思っております。





池井 豊 議員



熊倉 正治 議員

# 一 般 質 問

## 消雪パイプ井戸の点検状況は

**問** 平成23年から5年計画で町内の全35ヶ所の水源井戸について調査を実施しており、今年度は8ヶ所調査していると聞いておりますが、その結果はどうであったか、又昨年の調査結果に基づいて本田上及び上野地区において消雪パイプ井戸の掘削を行っていますが、現在どのような状況になっているのか、その結果等について伺います。又、消雪パイプの新設について、毎年各地区からの要望も多く有ると思っておりますが、その対応について改めて伺います。

**町長** 今年度は平成2年、8年に削井した消雪井戸8カ所の点検を行ってまいりました。点検内容は、揚水量、井戸の状況、水中ポンプの状態など

であります。本田上及び上野地区の井戸改修についてはすでに今年度完了しております。各地区からの消雪パイプの新設の要望につきましては、雪寒指定道路での狭隘道路や急な坂、通学路等も考慮した中で設置してきており、方針に変更ありません。機械除雪の不能箇所を除きまして、従来どおり機械除雪を充実し、対応していきたいと考えております。

**地域整備課長** 今年度点検した消雪井戸は本田上地区5ヶ所、川之下、上野、湯川地区各1ヶ所でありましたが、湯川地区の井戸を除いてほぼ良好でありました。なお、湯川地区の井戸はすでに修繕を完了しております。



▲点検中の消雪パイプ

## 一昨年の水害後の遊水地調査は

**問** 一昨年の7.29水害では議会で特別委員会も設置し調査活動を行い、そのまとめとして「要望総括事項」として多くの項目を挙げており、24年度で事業化できる箇所は予算措置もされ、要望が必要なものは要望や協議もしていると思っておりますが、特にその中で湯川(中店)地区の中江川流域、川船河地区の茗ヶ谷川流域、清水沢地区の清水沢川流域の遊水地調査はどのようなものであったのか、又結果が出ているとすれば今後どのように対応されるのか伺います。

**町長** 特別委員会の要望総括事項の一つであります町内3カ所の遊水池調査については、完了期限が12月末となっ

ておりまして、調査結果がまとまっておりません。

**地域整備課長** 調査内容につきましては、現地調査及び遊水池の調査であり、遊水池がその流域の水量で受けられるかどうか、又はそれに係わる方策があるのか否かを調査することです。農作業完了後の調査となることから、現在までに調査報告はまとまっておりませんが、水害対策の一環として位置づけ調査内容に基づき、できるところより新年度予算に盛り込めるように対応してまいりたいと考えております。



▲川船河地内

## 施設管理について

**問** 町の施設の管理を受益者に委託してはどうですか。行政にとってスリム化と使用者も使いやすい状態を作る事が出来ると思えます。

**町長** 田上町の公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例に基づいて、2人以上で組織する団体であり、施設管理について安定的に行える能力を有していれば、指定管理者として候補者になるものと考えております。

するなどしています。「住民参加型のまちづくり」を推進する上でもNPO・市民活動団体の育成をしてはいかがでしょうか。

**町長** 町づくりというのは人づくりでありますので、そのような団体は非常に大きな力になると考えております。各団体においてそのような機運が高まってくれば、町としても支援していきたいと考えております。

## 外部支援者の受入れ

**問** 田上町でもテレビドラマ「遅咲きのヒマワリ」で注目された、地域おこし協力隊や集落支援員制度を活用してはいかがでしょうか。

**町長** 平成21年度の制度発足以来、町としては検討しております。この制度の活用には

は、受け入れ態勢の整備が必要ですが、県内にはもう幾つか市町村が取り組んでおりますので、その取り組み状況や町のニーズを把握しながら研究したいと考えております。

**問** 平成17年の9月定例会で「大正川へ流入する小河川を含め大正川を信濃川水系の一河川として河川法にもとづく河川管理を求める請願書」が採択されています。才歩川も改修され、大正川も直接信濃川とつながり、現実としては羽生田川と信濃川を結ぶ河川です。一級河川認定に向けて再度動きを強めてはいかがでしょうか。

**町長** 以前も検討した経緯があります。大正川をどういふふうに使えばいいかというのは、土地改良区とも十分話し

## あじさいナンバーを作っては

合いをしていきたいと思っております。いずれにいたしましてもこれも研究課題であります。

**問** 地域に誇りと郷土愛を育むうえで、「あじさい」のオリジナルナンバープレートを作成してはいかがでしょうか。

**町長** 現在のナンバープレートの在庫もあるので、その間に研究していきます。

## NPOの育成

**問** 各市町村ではNPOを育成し、行政の一部事業を委託



▲羽生田川と大正川合流地点





今井 幸代 議員

### 食育推進に各関係機関の連携強化と民間活用を

**問** 当町の食育は、食を通じて健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむことを理念といたしまして、子供とその家族を中心とした食育、食育推進計画のもとに進められておりますが、町民の皆さんへの啓発の改善要望を伺います。欠食率と学力の関係については、学校から配付物等でされておりますが、やらないことによるデメリットを示すこと例えばテレビやテレビゲームをやり過ぎることで脳にどのような影響を及ぼすのか、そういった科学的根拠を示すことで、子供を持つ保護者や、また子供たちの動機づけにも繋がるかと思えます。合わせ

**町長** 私は、かねてから教育とか食育というのは、学校でやるのは当然ですけれども、やはりこれは親のしつけの問題だということを強く思っています。今後また教育委員会や保護者の皆さんとも連携し検討していきます。また、食育推進のために広報紙の活用各課での連携も図ってまいります。

### 『あたたかるた』を活用し、子供達の健全な心の発達を

**問** 先日行われたいじめ見逃しゼロスクールにおいての今年の取り組み、『あたたかるた』は、小学生、中学生、年齢にかかわらず取り組むことができ、読まれたかるたを取ればうれしい、取られれば悔しいと、緊張しながらも自然にコミュニケーションをとることができ、子供たちの共感性を育み、健全で優しい豊かな心を育むためのものであったと非常に評価しております。その『あたたかるた』ですが、ぜひ町の事業として、この『あたたかるた』を町民協働でいま一度つくり上げ、例えば幼児、小学生のいる家庭

**教育長** 私も大変すばらしい取り組みであったと評価をしております。当日のかるたを見ますと、温かい言葉がたくさん散りばめられておりました。あの後、現校長会長と話をしまして、この『あたたかるた』をこれで終わらせるのはもったいない、何とかかるたにして配布できないものかと相談をしました。「田上の子供は田上で育てる」を標榜した田上の12年教育を推進する上でも、大変有効な事業として積極的に取り組みたいと考えております。

# 一般質問

### 観光のページの写真

**問** ホームページの観光のページですが、観光のページと一言いながら写真が小さく、できればクリックをしたら、その写真を大きくしたほうがいいのではないのでしょうか。写真の原本が無くなったというのであれば、写真を町民の皆さんに募集することを提案したいと思えます。町長の意見を伺います。

しようとする非常に画質の悪い写真になります。町民からの募集については、公共性の高いホームページに掲載できるものであるかということが一つ、それから著作権や肖像権に問題がないか、それらに伴う受け付け業務、あるいは管理業務など、応募数にもよりますが、増減するものかなりの実務的な作業が予想されます。

**町長** 現在のホームページで公開されている写真は、実は画像データを使用した、いわゆるサムネイル写真という大変見づらくなっているのは確かでありまして。もとの画像データは、数年前にコンピューターの不具合によって消滅しておりますので、大きく表示



浅野 一志 議員

現在のホームページで公開されている写真は、実は画像データを使用した、いわゆるサムネイル写真という大変見づらくなっているのは確かでありまして。もとの画像データは、数年前にコンピューターの不具合によって消滅しておりますので、大きく表示

### リンクのページの掲載基準

**問** ホームページの左側に「リンク」とあります。ところがページには、商工会のリンクしかありません。確かに田上では、最初にホームページを作成したのは商工会です。しかし、町の施設であれば、小学校もありますし、中学校もあります。また、観光協会もあります。このリンクを掲載する何か基準があるのでしょうか、町長に伺います。

ガス、公共交通機関など、町民が必要な情報を掲載しているホームページへのリンクを設定することもあります。この基準以外の民間企業や、営利を目的とした団体のホームページのリンクは、基本的にはバナー広告への申し込みをお願いしております。ご承知のように、現在六、七社ぐらい載っていると思えます。

**町長** 町のホームページリンクを設定する基準としては、他市町村と同様に、国や地方公共団体などの公官庁、それから商工会などの公共機関に限っております。また、災害時に気象や電気







皆川 忠志 議員

# 一般質問

## 平成25年度 予算について

### 問 ① 予算の重点配分

平成25年度予算は、現在策定中ですが、特にどのような方向、施策等に重点的に予算を配分するのか、伺います。

田上町の将来の姿をどうするのか、将来に向けての投資を考えるべきです。

### ② 少子化対策

年少扶養控除も廃止され、子供を持つ家庭は厳しくなっています。子供医療費の助成は9月から入院を中学生まで拡大しましたが、これを通院まで拡大すべきと考えますが、如何ですか。

また、不妊症治療費は、保険の適用外で高額となっております。努力されている町民に対し、支援すべきと考えますが見解を伺います。

### ③ 観光分野

TVC Mの評価について、どのように考えていますか。内容について、人口増に向けた内容も必要ではないかと考えます。

また、観光分野の促進とスキルアップのため、観光の専門家を町へ派遣していただく方法も検討してはどうか。

### 町長

平成25年度に重点的に取り組む施策としては、①インフラ整備で、五明寺トンネル改修、②妊婦、子供医療費の助成、③竹の友幼稚園の未満児室の増設工事の3点で予算配分を行っていきたくと考えております。そして、将来の投資として、教育に力を注いでいきたいと考えておりますし、防災、安心・安全の施策も検討していきます。

少子化対策としては、25年度から、子供医療費については、通院の場合も中学生まで拡大していきます。また、不妊症治療費の支援については25年度から県からの特定不妊治療の助成を受ける町民に費

用の助成を行うこととします。また、TVC Mについては各種施設の利用増に繋がっており、アピール出来たものと思っております。また、当面現在の内容を継続しますが今後は、教育の取組を取り入れるなど、研究していきます。人材の受け入れについては、今後議論を深めて研究していきたいと考えております。

## 清掃 センターの 今後の展望

### 問

清掃センターは、設備の寿命が20年〜30年と言われる中で、建設から30年以上経過し、危機感を持っています。今後の展望について、見解を伺います。

### 町長

現在の財務状況から、管理者である加茂市長同様、新しく建設する場合、現在の

## 消防無線の 広域化・ デジタル無線 への移行

規模では補助金は受けられないため、基本的には小まめに修繕を行いながら、出来るだけ長く使用していきたいと考えております。いずれにしても、今後、消防衛生組合議会で議論される問題であります。

### 問

消防無線の更改が平成28年5月31日に迫っています。多大な経費を必要としますが田上町に与える影響を伺います。また、消防の広域化の現状はどうなっていますか。

### 町長

更改に要する経費は、かなりの額となりますが、来年度に検討することとしています。また、三条圏域では、広域化はしないことになっています。

# 常任委員会視察研修報告

## 総務産経常任委員会

期日 平成24年10月24日～25日

視察地及び研修内容

### ●石川県能美郡川北町

・人口増加策について

川北町の人口及び世帯数は、平成元年4千524人、994戸から平成24年6千192人、千792戸と人口増加傾向にあります。要因は工場誘致に成功し、その税収（固定資産税5億7千404万円、法人町民税360万円）から、かねてより進めてきた子育て施策・住民サービスが功を奏し、工場従業員のほか金沢市・野々市市のベッドタウンとして人口が増加しています。

○ 公共料金の低廉化（町民負担の少ない町）

・水道料金

1ヶ月10トンまで無料

・国民健康保険税

7万5千188円（県下最低）

・河北温泉（図書館併設）入浴料大人200円、中人100円、小人50円

○ 補助等の施策

・いきいき地域づくり交付金（町内会への交付金）

4千400万円

・医療費の無料化

0～18歳、75歳以上、一人

・不妊症治療費

基準額100万円（70万円限度

3割負担、第1子に限る）

・インフルエンザ予防接種助成

1～18歳及び65歳以上は全額補助、19～65歳未満は一人

1回年2千円の他、多数の補助施策があります。

●石川県河北郡内灘町

・人口増加策について

内灘町の人口数は、昭和45

年1万890人から平成22年2万6千933人と倍増しています。

石川県住宅供給公社と連携

し、町独自の奨励金を設け団

地移住を推進しています。その結果金沢市のベッドタウン

として人口が増加しています。

・定住促進奨励金

町外からの転入（白帆台地区 世帯2人まで40万円、一人追加毎に20万円限度80万円）

町内での建替え、住替え

（白帆台地区 30万円）

●石川県金沢市農商工連携支援機構スターシップ

・農商工連携について

・農商工等連携事業計画認定

に関する事業、申請に関する支援・認定後フォローアップ

・中小企業者と農林漁業者間の交流機会の提携事業及び

マッチング支援

・マッチングセミナーの運営

・新規事業の計画策定・実施支援

国の農商工連携施策を踏まえ、NPO法人を設立し相談・

マッチング・支援の業務を行っています。

「能登栗を活用した事業」

では栗生産農家と販売業者と

加工業者との連携の実践例を

研修しました。



▲川北町役場



▲内灘町役場



社会文教常任委員会

期日 平成24年10月31日～11月1日

視察地及び研修内容

●山形県米沢市

・道徳教育について

米沢市は人口8万6千人あまりで、上杉鷹山公の「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとも」の名言でも有名なところですよ。

学校教育の中で道徳郷土資料集「ふるさと米沢の心」を発刊し小学校3年から中学校3年までの全児童生徒に配布し活用している。郷土の先人の伝記、逸話などの題材を取り上げ、その生き方、考え方を学ばせることによって、児童生徒の道徳性を養い、あわせて郷土に対する深い理解と愛着を養うことを目的に作成しているとのことでした。

この資料集の中には、社会の発展に尽くした米沢にゆかりのある人々の生き方や考え

方が、物語として紹介されており、この物語が一人ひとりに感動を与え、心を豊かにしています。この資料集を深く読み味わい、ふるさと米沢に誇りを持ち「ふるさと米沢の心」を語り継ぎ、力強く生きていく礎としてほしいとありました。郷土の先人たちの伝記や逸話を題材として取り上げ道徳教育に活かしている米沢市でなければ出来ない、独特の教育であり素晴らしい取り組みであったと感じました。



▲米沢市役所

●山形県西村山郡朝日町  
・子育て支援策及び定住促進策について

朝日町は人口7千900人あまりで、現在も人口減少が続いている町です。

子育て支援策では、ファミリーサポートセンターでの支援、中学生まで無料化の医療費助成制度、インフルエンザ予防接種助成制度等の事業が実施されていきました。

定住促進策では、町での住宅団地の造成が10箇所、159区画、町営住宅は5棟で80戸、住宅の新築・改築等に限度50万円を助成、合併処理浄化槽設置に55万円（5人槽）補助、転入者には20万円の奨励金を交付。空き家を購入、賃貸する利用者に上限30万円補助、空き家バンクを介し空き家に移住し6ヶ月経過した方に10万円を交付するなどの空き家対策も実施されています。

朝日町の人口は、昭和30年に1万6千615人をピークに減

少を続け、平成22年国勢調査速報値では7千856人で55年間では8千759人、52.7%まで減少し、平成元年度以降は、社会減に加えて自然減による人口減少が加速傾向にあるとのことと、高齢化率も35.3%で県内2位の高い率となっており、人口減少対策としての様々な施策は、当町においても参考となるものでありましたが朝日町における人口の社会減・自然減はあまりにも大きく、決定的な定住促進策とはなっていないと感じられました。



▲朝日町役場

# 一部事務組合報告

加茂市・田上町消防衛生組合

## 行政視察

期日 平成24年10月11日～12日  
 視察先 長野県茅野市諏訪南  
 清掃センター・ごみ焼却処理  
 施設

参加者は組合議員・副管理  
 者・事務局他・計19名

### 「ごみ焼却処理設備概要」

敷地面積約2万4千㎡  
 建物面積約4千300㎡  
 炉形式 准連続燃焼式焼却炉  
 処理能力50t/16h\*2炉  
 建設工事費43億2千万円

着工平成7年、竣工平成9年  
 入札から7年間を経て竣工し  
 ました。設備の特徴は臭い・  
 排水・排ガス・灰・騒音の公  
 害防止に重点を置いた設備で  
 15年経過した現在も管理され  
 た環境にありました。設計寿  
 命は20年程度と言われていま  
 すが、目標を30年程度まで使  
 える様に「壊れてからでは手

遅れ」を基本に計画的修繕計  
 画を取り入れ管理されていま  
 した。

加茂市・田上町の施設は昭  
 和55年の稼働から32年間経過  
 していることから、新規建設  
 計画を作るための準備をする  
 必要があると感じました。

### 組合議員

関根 一義  
 渡邊 正策  
 皆川 忠志  
 今井 幸代



▲加茂市・田上町消防衛生組合清掃センター

三条・燕・西蒲・南蒲広域  
 養護老人ホーム施設組合

## 第2回定例会

期日 平成24年11月27日  
 場所 三条市役所

議案は2件

一、人事案件では議長は三条  
 市議会 下村喜作氏、副議長  
 に燕市議会 齋藤紀美江氏が  
 選出され承認されました。

二、平成23年度の歳入歳出決  
 算の認定については、歳入2  
 億3千532万5千円、歳出2億  
 2千644万円、繰越888万5千円  
 でありました。

適正に予算執行の報告を受け  
 て、議会で認定されました。

組合議員 椿 一春



### ▲お詫び

平成24年10月26日発行（第95  
 号）の「議会だより」で印刷  
 校正時に誤りがありましたので、訂正いたします。（12ペ  
 ージ渡邊正策議員一般質問）

◎田上町の幼児年齢別人口数(平成24年4月現在)							
年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
出生数	65	80	77	77	95	78	472
◎田上町の幼児年齢別人口数(平成24年4月現在)							
定 員	15	20	40	60	60	60	255
在園児数	15	28	46	56	66	61	272
定員増 対策	申請増 待機児童 広域入園	8	6	-4	6	1	17
		入園対応		入園対応 (他に民営幼稚園あり)			

### 誤

◎田上町の幼児年齢別人口数(平成24年4月現在)

### 正

◎竹の友幼稚園の在園児状況(平成24年8月現在の申請含む)



# 議員活動あれこれ

11月13日新潟市自治会館にて行われた町村議会研修に参加しました。

講師に明治大学農学部教授小田切徳美氏を迎え、「農山村地域の現状と課題について」をテーマに都市と農山村の位置付けとその関係、両者の共生について学んできました。



## 羽生田小学校140周年記念式典

記念音楽会では子供達の素晴らしい発表を見ることができました。

歴史の重みを大切にし、今後とも子供達の健全な育成に町一丸となって取り組んでいく必要があります。



## 竹の友幼稚園お楽しみ会

12月15日、3歳児以上の園児達のお遊戯会、お楽しみ会がありました。

合唱、合奏、英語の歌、劇など一生懸命に練習した成果を発表していました。子供達の成長を間近に感じる事ができ、私共も元気をもらいました。

## お知らせ

議会を傍聴してみませんか。次の定例会は**3月4日(月)**からの予定です。請願は**2月25日(月)**までに提出されたものを3月定例会で審議します。

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
椿	有川りえ子	浅野一志	熊倉正治	皆川忠志	川崎昭夫	松原良彦	今井幸代	川口與志郎

皆様、健やかな新年をお迎えることと思います。今年の冬は早くも12月1日に初雪が降り、定例会初日の10日には除雪車が初出動して、あっという間に真冬になってしまいました。

12月定例会は、衆議院選挙の真つ最中に開催され、政権の行方がとても気になりました。補正予算では選挙関連の経費他が承認されました。

田上町においては、住みよいまちづくりを目指して、議会と町民の皆様と一緒に、真剣に取り組んで参りたいと思います。

今年も、広報委員全員で、読みやすい紙面づくりに努めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(有川 記)

編集後記